

【016】 次の表から正しくいえるのはどれか。

製品 α の製造個数の工場別構成比の推移

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
工場A	5.7	25.5	34.1	47.4	49.8
工場B	35.2	19.1	12.6	17.2	31.4
工場C	24.4	29.3	28.8	21.5	12.1
工場D	34.7	26.1	24.5	13.9	6.7
合計	100.0 (1,612)	100.0 (1,920)	100.0 (2,504)	100.0 (3,698)	100.0 (5,333)

(注) () 内の数値は、製品 α の製造個数の合計 (単位：千個) を示す。

- 2015年から2018年までの各年についてみると、工場Bでの製品 α の製造個数が最も多いのは2015年であり、次に多いのは2018年である。
- 2016年についてみると、工場Cでの製品 α の製造個数は、工場Dでの製品 α の製造個数を9万個以上、上回っている。
- 2017年から2019年までの各年についてみると、工場Cでの製品 α の製造個数が前年に比べて減少したのは2019年だけである。
- 2018年における工場Aでの製品 α の製造個数は、2015年から2017年までの3か年における工場Aでの製品 α の製造個数の累計を下回っている。
- 2019年における工場Dでの製品 α の製造個数は、2018年における工場Dでの製品 α の製造個数の2分の1を下回っている。

【017】 下の表は、2016年度のタブレット端末国内出荷台数と各四半期における前年度比及び前々年度比をまとめたものである。この表から判断できることとして、最も妥当なのはどれか。

	第1四半期 (4-6月)	第2四半期 (7-9月)	第3四半期 (10-12月)	第4四半期 (1-3月)
出荷台数 (2016年度)	157,000台	166,000台	247,000台	177,000台
前年度比	116.2%	102.3%	89.6%	60.3%
前々年度比	96.3%	88.3%	98.4%	65.6%

- 第1四半期において、前々年度より前年度の方がタブレット端末国内出荷台数は増加している。
- 前年度において、第2四半期におけるタブレット端末国内出荷台数は第1四半期から減少している。
- 前々年度において、タブレット端末国内出荷台数が最も多いのは第3四半期である。
- 前年度の第4四半期のタブレット端末国内出荷台数は、30万台を下回っている。
- 前年度のタブレット端末国内出荷台数の合計は、2016年度のタブレット端末国内出荷台数の合計を下回っている。

【016】 3

2017年： $2504 \times 0.288 = 721.152$ 2018年： $3698 \times 0.215 = 795.07$ 2019年： $5333 \times 0.121 = 645.293$

正しい

1 2015年： $1612 \times 0.352 = 567.424$ 2016年： $1920 \times 0.191 = 366.72$ 2017年： $2504 \times 0.126 = 315.504$
2018年： $3698 \times 0.172 = 636.056$ 多い順に、2018年→2015年→2016年→2017年となる。

2 工場C： $1920 \times 0.293 = 562.56$ 工場D： $1920 \times 0.261 = 501.12$
 $562.56 - 501.12 = 61.44$ 6万1440個

※別解

%差が $29.3 - 26.1 = 3.2$ なので、 $1920 \times 0.032 = 61.44$ と計算してもよい。

4 2018年： $3698 \times 0.474 = 1752.852$

2015年： $1612 \times 0.057 = 91.884$ 2016年： $1920 \times 0.255 = 489.6$ 2017年： $2504 \times 0.341 = 853.864$

合計： $91.884 + 489.6 + 853.864 = 1435.308$ 2018年のほうが多い。

5 2019年： $5333 \times 0.067 = 357.311$ 2018年： $3698 \times 0.139 = 514.022$ 2分の1より多い。

【017】 4

第4： $177000 \div 0.603 \approx 293532$ 正しい

1 表を見て計算しなくても解けるが

前々年度： $157000 \div 0.963 \approx 163032$ 前年度： $157000 \div 1.162 \approx 135112$

2 第1： $157000 \div 1.162 \approx 135112$ 第2： $166000 \div 1.023 \approx 162268$ 増加している

3 見た感じ第3か第4なので、この2つを計算してみる。

第3： $247000 \div 0.984 \approx 251016$ 第4： $177000 \div 0.656 \approx 269817$ 第4四半期が最も多い。

5 2016年度： $157000 + 166000 + 247000 + 177000 = 747000$

前年度： $(157000 \div 1.162) + (166000 \div 1.023) + (247000 \div 0.896) + (177000 \div 0.603) \approx 866581$

※ $135111 + 162268 + 275670 + 293532 = 866581$

前年度のほうが多い。